平成27年度 議会意見交換会意見・要望等に対する回答一覧表（東和町）

平成28年3月31日現在

分野	意見・要望等の内容	回答者の区分	回　答
②意見交換会	意見交換会は5回目というが、参加者が少なく低調だと思っている。中田・迫は好調だと思っているが、もうちょっと取り組み方を考えてはどうか。 また、他町域での意見交換会の中身、出された問題・課題点をダイジェストで資料として提供してほしい。	議会	他町域の開催状況、意見等については、議会のホームページに掲載しています。
③庁舎建設	庁舎が建設されると支所の職員がますます減ると思われる。 支所のあり方と密接な関係がある庁舎建設問題は次の市長選挙で「公約」とすべきではないか。	議会	市長へ伝えます。
⑦公園、公共施設、跡地利用	東和町には合併後、使用しなくなった建物等が多い。そういうものを雨ざらしにし、東和町の「遺構」としないでほしいし、一定のルールに縛られない活用ができるように変えてほしい。	議会	現在、公共施設の再配置計画を策定中です。活用については、地域の皆さんの声を聞かせていただきたい。
⑩病院	米谷病院建設の事務にどうして時間がかかっているのか。	議会	事務が遅れているのではなく、建設予定地の買収に理解を得られなかったことによります。
	米谷病院は、診療所でもいいのではないかというような意見も出ていると聞く。どうなっているのか。	議会	合併により2病院4診療所となる方針が決められましたが、震災を経て3病院3診療所に計画変更されました。米谷病院は「病院」として整備されます。
⑫市民生活	住民バスが米川まで来ているが、産業高校に通う生徒もいるので、朝晩一便でもいいので上沢まで延長してほしい。バス路線のダイヤは「使う人目線」で考えてほしいが。	企画部市民活動支援課	担当部署へ伝えたところ、「現在、市民バス東和線につきましては、「若草園」を始終点として運行しております。試行運行当初は、県境の地蔵田まで運行しておりましたが、米川地区乗合タクシーの運行に伴い、米川元町から地蔵田間の運行を廃止しております。 米川地区の乗合タクシー運行につきましては、米川地区住民の皆様と導入に係るメリット、デメリットなどの検証や、運行形態等について協議・検討を重ね、平成19年11月から地区住民が組織する運行協議会による自主運行がスタートしたところであり、地区住民の生活に欠かせない公共交通機関として通院や買物などに利用いただいているところであります。 「市民バスを上沢まで延伸して欲しい」との要望でありますが、米川地区におきましては、地域の皆様により、利便性の高い乗合タクシーが運行されておりますことから、乗合タクシーと重なる区間における市民バス運行の延長は難しい状況でありますので、ご理解をお願いいたします。」と回答がありました。
⑯河川管理、道路整備	これまで県土木や国交省に立ち会ってもらったが、その時、登米市は管内で一番予算を使っていると言われた。二股川の改修の件だが川の中に大木が育っている有様だ。これでは100㎜の雨が降ったら大変なことになる。 市議会議員にもこのような現状を共有してほしいと思う。	議会	二股川の管理状況について、国では「平成26年度初めに樹木による流水阻害状況を確認しており、そのなかで大沢水門付近の河川に樹木が生えていることは確認しているが、河川管理上支障となる状況にはない。」とのことです。 また、当該箇所には宮城県の所有地もありますが、「実質的に建設省が河川敷で管理している土地であり、国からは流水の支障にはなっていないと話されている。さらに、堤内民地内の境界が不明なこともあり、現在のところ伐採は考えていない。」ということです。 今後、現状の把握に努め、必要な場合は改修要望等を行っていきたいと考えています。
⑳まちづくり	合併して10年。住民サービスは低下させないという話だったが。	議会	市民からみて水準が低いというならそうかもしれないが、低下させないように努力をしていきま
㉓職員、組織機構	職員給与を10年で均すということはどうなっているのか。	議会	未だに是正しきれない部分もあります。
	災害時などに敏速に対応できるよう支所長に権限と財源を与えるべきではないか。	議会	担当部署の総務部人事課へ伝えました。
	教育長の顔を就任以来見ていない。そんなに多忙なのか。 これから生き残っていく町に必要なのは人間教育であると思うが、どういう考えをお持ちの教育長なのかわからない。	議会	教育長に伝えます。

分野	意見・要望等の内容	回答者の区分	回　答
㉕補助金	集落支援員制度は支出がしばられていて自由にならない。市長には話したが、議会でもバックアップしてほしい。「がんばる補助金」も制約があり使いにくい。 各コミュニティが臨機応変に使えるような制度にしてほしい。	議会	議会としても、重要課題と捉えて検討して行きます。
㉗その他	宝くじ助成の申請の仕方を変えてほしい。当たらないのに毎年同じような申請書を作成するのは大変だ。	企画部市民活動支援課	担当部署へ伝えたところ、「コミュニティ助成事業（宝くじ助成）につきましては、（一財）自治総合センターが宝くじ受託収入を財源に、コミュニティ組織などの健全な発展と宝くじの普及広報を目的に実施しているものです。市では、自治総合センターの要綱に基づき募集を行っております。 このことから、希望する場合は毎年度申請が必要となりますので、ご理解をお願いいたします。」と回答がありました。
	三陸道整備のために市は国に市有林を売却したが、売却した山林は米谷の人たちの財産である。杉は銘木に成長していたが。	議会	市有林は登米市に引き継ぎました。これに見合う杉の買収費は国から補償してもらっていると認識しています。
	米川の「水かぶり」のユネスコの世界遺産登録に議会としても協力願いたい。	議会	ご意見として拝聴いたします。